

笑む笑む会「にっこにっこバザー」を開催

令和2年2月25日(火)・26日(水)の二日間、北老人福祉センター2階大会議室を会場に、笑む笑む会「にっこにっこバザー」を開催しました。バザーの開催にあたっては、笑む笑むサービスマン会員の皆様をはじめ、地域の皆様や当センターを利用される方々など、多くの皆様から多大なご協力を頂き、大盛況のバザーとなりました。

3年ぶりの開催ということもあり、未経験のスタッフも多く戸惑いや不安もありましたが、今回は「物品販売」と合わせてうどん、おでんの「飲食販売」にも挑戦しました。当日は、開始時間前から、たくさんの方の皆さんにご来場頂き、「どんな掘り出し物があるのか楽しみ!!」と周りの方とお話しをしている声が、扉越しに聞こえていました。開始時間になり、入り口を開けると、目的の所へ一目散の方や端から順番に見ていく方など様々で、雑貨やハンドメイド・食器・花器・生花・新鮮野菜・地場産品・着物・家電品など、沢山の物品を楽しく品定めされていました。会計を済ませた多くのお客様から、「良い物が安く購入出来て良かったです。」とお声を頂き、スタッフ一同嬉しい気持ちになりました。

「物品購入」の後は、うどんやおでんのチケットを購入頂き、お食事を楽しまれていました。うどんやおでんの具材のほとんどは、皆様からご提供頂いた採れたて野菜を使用し、協力会員さんの美味しい味付けで、たいへん好評でした。

バザー前日から当日までお忙しい中、陳列や調理の下準備・販売・駐車場整備・片付け等のお手伝いに来てくださった方、出品物の提供、チラシ掲示にご協力くださった商店街の皆様など、このバザーに関わってくださったすべての皆様に心から感謝申し上げます。お陰様でバザー収益金も14万3306円となりました。収益金につきましては、今後の「笑む笑むサービスマン事業」の福利厚生費として役立たせていただきます。

今後とも、「笑む笑むサービスマン事業」へのご理解と、ご協力を宜しくお願い致します。



「笑む笑むサービスマン事業」の活動内容が一部変更になります。

- 笑む笑むサービスマン事業は、「みんなで支え合おう明るい老後」を合言葉に当協会が独自に運営している助け合いの事業です。支援を行なう協力会員さん(サポーター)や、支援を受ける利用会員さんをはじめ多くの方々のご協力により平成元年から実施しており、今年で32年目を迎えます。
- 令和2年4月から「笑む笑むサービスマン事業の内容」が一部変更となりました。ご理解、ご協力をお願いいたします。

サービス内容・料金 援助は1時間からが基本となります!!

- 「協力会員」の用語を「サポーター」に、「身体介助」の用語を「屋外援助」に変更しました。
- 草とりや庭の掃除、倉庫の片付けなどの活動は、屋外援助への区分変更となり、1時間1,000円から1,300円に変わります。ご希望の方は追加サービス利用券の購入をお願い致します。(延長は30分650円から) なお、墓掃除の援助がなくなりました。
- 短時間サービスのニーズに対応するため、新たにゴミだし等のワンポイントサービス「ご近所たすけ愛サービス」を設けました。

家事援助 (1時間 1,000円) 延長 (30分 500円)

- 掃除・整理整頓
- 食事の支度・台所の片付け
- 洗濯・布団干し
- 買い物
- 病院・役所・銀行・親戚などの連絡代行
- 話相手や読み書きの手伝い
- 見守り・服薬確認 など



屋外援助 (1時間 1300円) 延長 (30分 650円)

- 除草作業・倉庫の片付け 等
- 通院・外出時・墓参りの同行 など



ご近所たすけ愛サービス (ゴミだし等)

- ・1回150円 (利用券 20枚綴 3,000円)
- ・当面、岡富地域包括支援センターの担当エリアで、担い手(サポーター)が確保でき実施可能な地域から始めます。

笑む笑むサービス サポーターさん

活動のご紹介

『私はサポーター』

「ごめんください。笑む笑むサービスから来ました。」から始まる私達サポーターの活動、訪問先は高齢者のお宅です。足、腰が痛くて、病気の為お掃除が出来ない、買物に行けない、料理が作れない、庭の草取りが出来ない等々、ちょっとした日々の困り事のお手伝いをしています。限られた時間で活動ですが、夏の暑い日、冬の寒い日の作業でも利用者さんの「きれいになったわ。ありがとう。」「この前の料理美味しかったよ。」の優しい一言で、暑さ、寒さは飛んでゆく。

私も日々、老いを感じる年齢になって利用者さんの気持ちがだんだん分ってきた。私、もう少しの間 動けるのかな？私の出来る範囲で、活動を続けてみよう。

いつかは、私もお世話される側になるから。

協力会員（サポーター） 田上 瑤子 さん

『出会いに感謝』

退職をし、人とのつながりも少ない中で、このボランティア（笑む笑むサービス）を通じて色々な人との出会いがあり感謝しております。

今までした事のない支援で、戸惑うことばかりですが、利用会員さんの喜びの声を聴くと、『さらに頑張らねば!!』と思います。また教えて頂く事も多く毎日が勉強です。

支援を通じて思うことは『健康が一番だな』ということです。

協力会員（サポーター） 森 久幸 さん

サポーター（協力会員）を募集しています

在宅高齢者の『家事援助』や、通院や買い物の付添いといった『屋外援助』サービスを行なう「サポーター」（協力会員）を募集しています。

資格・性別年齢は問いません。70歳以上の方も多く活動されています。

なお、サービスを提供して頂いたサポーター（協力会員）には、サービス内容と、時間に応じて活動費が支払われます。

ご自分が「出来る曜日や時間」に、「出来る事」をお手伝いしてみませんか？

【問い合わせ】 ☎21-8510（担当：有働・高橋）

今、多くの市町村で市民後見人の養成が進められています

家庭裁判所に申立てを行い成年後見人が選任される場合、親族以外の第三者が選任されることがあります。この第三者後見人には、弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門職後見人が選任されることが多いのですが、成年後見の申立てをする人が増えていることから、年々専門職後見人が不足する状況にあります。（延岡市では、令和元年12月末現在の成年後見制度利用者数は330人で、宮崎県内で2番目に多い人数となっております。）

このため、専門職以外の権利擁護の担い手として、「社会貢献の思いを持つ一般市民の方々にも後見人になってもらおう！」と、8年程前から都道府県や一部自治体が主体となり市民後見人の養成を行っており、延岡市においても平成30年からその養成研修等を実施しております。

一方、成年後見制度と同時期に導入された介護保険制度は、家族が担ってきた役割を地域社会で支えていく「介護の社会化」を意図に進められてきました。成年後見制度もこれと同様に、より身近で使いやすい制度にするために「成年後見の社会化」という意図をもって導入された背景があります。

第三者後見人が増えることは、一見、「成年後見の社会化」が進んだように見えますが、地域社会で支えるという視点から見ると、本来制度が目指している姿と少し違うのでは？ということ、改めて市民後見人の役割や必要性が注目されるようになりました。単なる担い手の数を増やすということではなく、市民後見人でなければできないことがあり、そこに期待がかかっているのです。

延岡・西臼杵権利擁護センターでは、令和3年度からの市民後見人養成研修の実施に向け、現在準備を進めています。興味のある方は、是非ご参加ください。

また、分からない事などありましたら、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】

延岡・西臼杵権利擁護センター

☎ 20-4515（ようこ） いこう

編集後記

世界中で『新型コロナウイルス』が猛威を振り、感染者が増加しております。「学校の臨時休校」事業者への「休業要請」「不要な外出の自粛」などで、自宅で過ごす時間が増えています。それに伴い「自宅での過ごし方」や「手作りマスク」「自宅運動」などに注目が集まり、その様子がTV等でも紹介されています。一日も早い終息を願って、各個人で出来る『感染拡大防止策』に協力していきましょう。どうぞ皆様、お体に気をつけて毎日をお過ごし下さい。



『物品寄付』

「特定非営利活動法人 すまいる」様

アクリルたわし

「趣味の会の利用者」様

✂️ 手作りマスク

『バザー物品寄付』

食器・日曜品・タオル・手作り小物
着物・反物・布団
名作DVD・家電品
バック・アクセサリー
家庭菜園の採れたて野菜や果物・乾物
花・苗
たくさんの皆様から
ご提供頂きました。

ありがとう
ごまひに



簡単料理 めんつゆでふわとろ親子丼

材料（2人分）

ご飯 お茶碗2杯 鶏肉 1枚 玉ねぎ 1/2個
●めんつゆ(2倍凝縮) 80cc ●水 70cc ●砂糖大さじ1
卵 3個 きざみねぎ 適量

作り方

- 1 鶏肉を一口大に切る 玉ねぎは薄切りにする 卵はよく溶いておく
- 2 フライパンに●の材料を入れ沸騰させる
- 3 沸騰したら、鶏肉、玉ねぎを入れ、火が通るまで煮込む
- 4 火が通ったら卵を半分回し入れ、蓋をする
- 5 蓋をし 15秒程経ったら残りの卵を回し入れ火を止める
- 6 余熱でほどよく固まったら器に盛ったご飯の上に盛り付ける きざみねぎをのせ完成



Rakuten レシピより

北老人福祉センターの花壇に植える「丈の短い花」がありましたら、是非ご提供お願いします。

【問合せ先】 延岡市北老人福祉センター

☎ 21-6673

